

「滋賀県企業庁経営戦略見直し（原案）」に対して提出された意見等とそれらに対する考え方について

1 県民政策コメントの実施結果について

令和7年12月17日（水）から令和8年1月19日（月）までの間、滋賀県民政策コメント制度に関する要綱に基づき「滋賀県企業庁経営戦略見直し（原案）」について意見・情報の募集を行った結果、11件の意見が寄せられました。

提出された意見等とそれらに対する考え方は以下のとおりです。

なお、提出された意見については、その趣旨を損なわない範囲で内容を要約しています。

2 提出された意見等の内訳

項 目	件 数
全般	1 件
概要	4 件
本編	－
第1章 策定等の趣旨	－
第2章 事業の概要、現状評価と課題	4 件
第3章 基本理念・基本目標	－
第4章 目標の達成に向けた取組	2 件
第5章 投資・財政計画	－
第6章 計画の推進	－
合 計	11 件

3 提出された意見等とそれらに対する考え方

別紙のとおり

NO	頁	意見等の要旨	意見等に対する考え方
全般			
1		滋賀県企業庁経営戦略見直しについては、将来の水道事業にとって必要な内容と認識している。 見直し期間中に決定した内容については周知をお願いしたい。	戦略見直し期間中の取組事項については、適宜・適切に周知してまいります。
概要			
2		2 R3年度～R7年度における主な取組と課題 【安全】の課題の文章中、「か び」の間の半角スペースを修正するべきと考える。	御指摘のとおり、修正します。
3		4 目標達成に向けた取組 個別的取組の3【持続】にある「人材育成と技術継承」については、広域化を進める上で、滋賀県内全体の最も大きな課題の一つであり、横断的取組に当該項目について掲げるべきであると考えます。	広域化の推進については「経営基盤の強化」の方法の一つとして個別的取組において位置づけています。 また、御意見の趣旨にあるとおり、「人材育成と技術継承」は広域化の推進における重要事項の一つと考えることから、本編において、個別的取組の3【持続】の「経営基盤の強化」のうち、「広域化の推進」の「水道事業体間での相互の研修参加受け入れ・・・など」に含めて記載しております。
4		4 目標達成に向けた取組 目標指標について、なぜその数値にしたのかご教授願いたい。また、掲げておられる指標が高いのか低いのか分からないため、比較対象として全国平均などを併せて載せてみてはいかがか。	企業庁経営戦略の目標指標については、経営分析指標、法令基準、企業庁アセットマネジメント計画などの庁内計画・マニュアル、これまでの実績値などにに基づき設定しております。 御指摘いただいた点については、本編において、全国平均などが公表されているものを指標欄に追記します。
5		4 目標達成に向けた取組 横断的取組に「DX活用・推進」を掲げておられるが、目玉施策として掲げるからには、しっかりと実行していただきたい。 また、県生活衛生課と企業庁で連携を取り、滋賀県内各市町の実情を把握した上で、真に必要な実効性のある施策展開が図れるよう、現在の県の進め方を改善すべきだと考える。	全国的に水道管の老朽化による事故が頻発する中、第1次国土強靱化実施中期計画においてDXの活用・推進の重要性が示されています。こうした現状も踏まえ、企業庁においても、令和7年度策定のDX推進導入計画に基づき、計画的にDXの導入を進めてまいります。 なお、企業庁においては、県内水道事業体全体で連携が必要な事項について、その一員として参画し積極的に取り組んでまいります。

NO	頁	意見・情報の要旨	意見等に対する考え方
本編			
第2章 事業の概要、現状評価と課題			
6	5	図表2-5 料金改定の状況 →R9.4.1～(案) 図表の上記文章において、「令和9年4月1日から使用料金単価を改定することとしました。」と記載されているので、(案)を削除するべきと考える。	御指摘の部分については、県民政策コメント開始時の12月17日には案として記載しておりましたが、その後、滋賀県議会に上程した料金改定にかかる条例改正案が同月19日に可決されたことから、削除します。
7	6	⑤経営状況 →「令和4年度は単価の高い最終保障契約～」 令和6年度の純利益が減少している理由等の記載がないので、記載するべきと考える。	御指摘を踏まえ、以下のとおり追記します。 (追記) 令和6年度は当該補助金の減少や吉川浄水場の新浄水施設の供用開始に伴う減価償却費の増加により純利益が減少しました。
8、9	8	P.8 ア. 主な取り組み 【安定】「浄水施設の耐震化に向けた取組(平成23年度～)」 P.9 イ. 目標指標の実績と評価 【安定】「浄水施設の耐震化率(%)」 P.9「浄水施設の耐震化率」は目標値15%に対し、実績は0%で総合評価が「▲」となっている一方、P.8「ア. 主な取り組み」の【安定】には、「浄水施設の耐震化に向けた取組(平成23年度～)」を実績として掲げているように見え、矛盾しているのではないかとと思われる。	「浄水施設の耐震化率」については全浄水施設能力のうち耐震対策が施された浄水施設能力の割合を算出したものです。当該期間において、耐震診断など施設の耐震化に向けた取組を行ってきたものの、施設が耐震対策を施されたといえるまでは実績として計上をしていないため、総合評価を▲としているところです。 御指摘を踏まえ、よりわかりやすい表現とするため、以下のとおり追記します。 (追記) P.8 ア 主な取組【安定】 ・ <u>耐震診断</u> など浄水施設の耐震化に向けた取組(平成23年度～)
9	9	イ. 目標指標の実績と評価 目標値の下にR2の記載があるが、R2の実績は出ていると思うので、目標値とR2(実績)を分けて表記すべきと考える。	御指摘のとおり、記載します。
第4章 目標の達成に向けた取組			
10	27、28	横断的取組 今後5年間の主な取組のスケジュールを記載していただきたい。	リスクコミュニケーションについては、関係機関とコミュニケーションを行う中で、災害などのリスクへの対応を前提にした連携・信頼関係を構築していくことを目的としております。また、DX活用・推進については、デジタル技術は進歩や変化が非常に速いことから、新たな技術の導入・変更に関して柔軟な対応が求められます。こうした取組の目的や性質等を踏まえ、取組のスケジュールは記載しておりません。

NO	頁	意見・情報の要旨	意見等に対する考え方
11	30 、 33 、 37	< 今後5年間の主な取組のスケジュール > P.30について、P.28～30の個別的取組に沿って、丁寧に記載していただきたい。 P.33、37も同様。（中には、項目として掲げているのに、スケジュールには何も記載されていないものもあると見受けられる。）	取組のスケジュールについては、現行戦略策定時に10年間を記載しており、経過した5年間を受け継ぎ、見直し後5年間の主な取組について記載することとしております。記載にあたっては、本文に合わせてよりわかりやすく修正します。